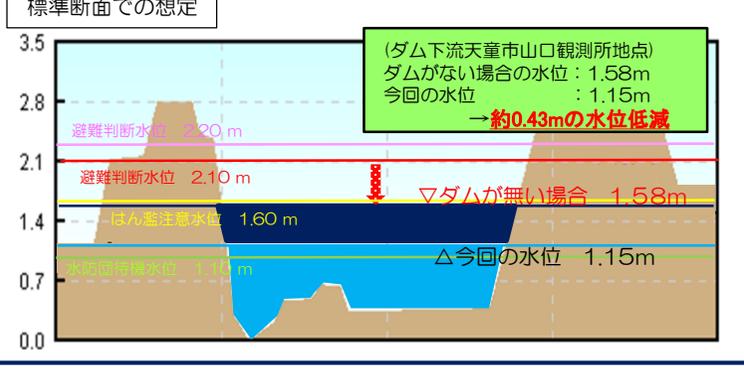
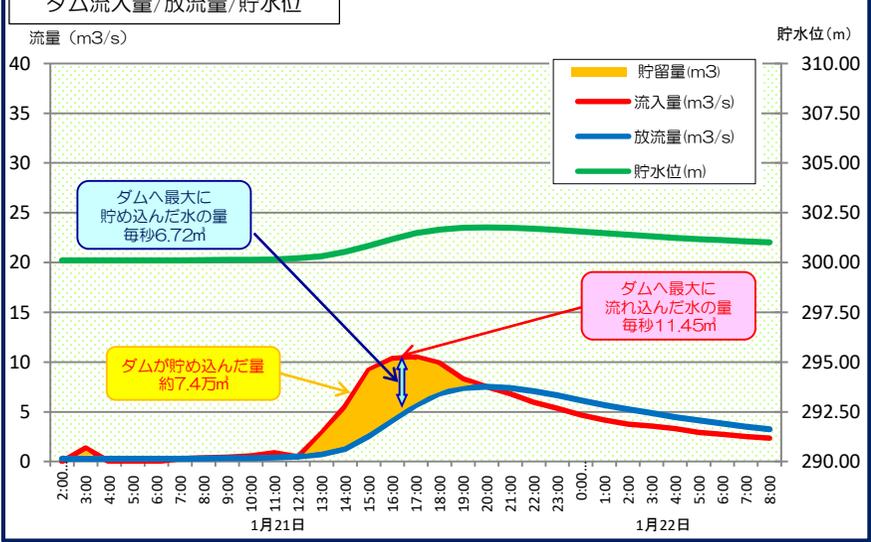
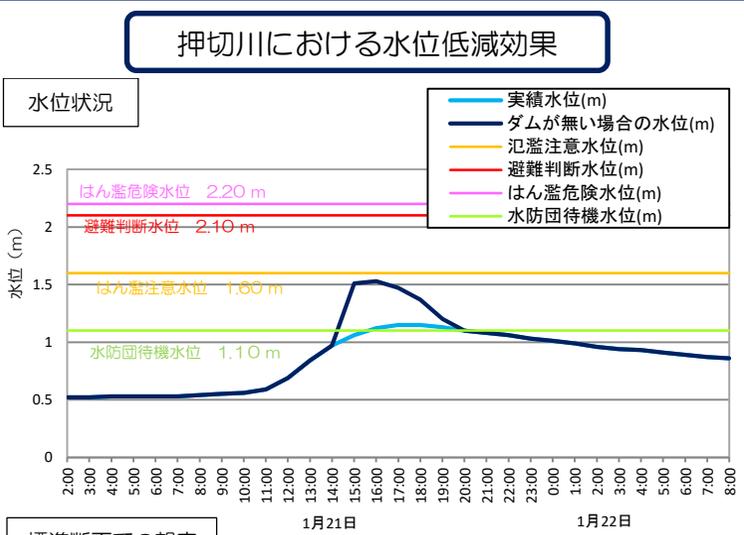
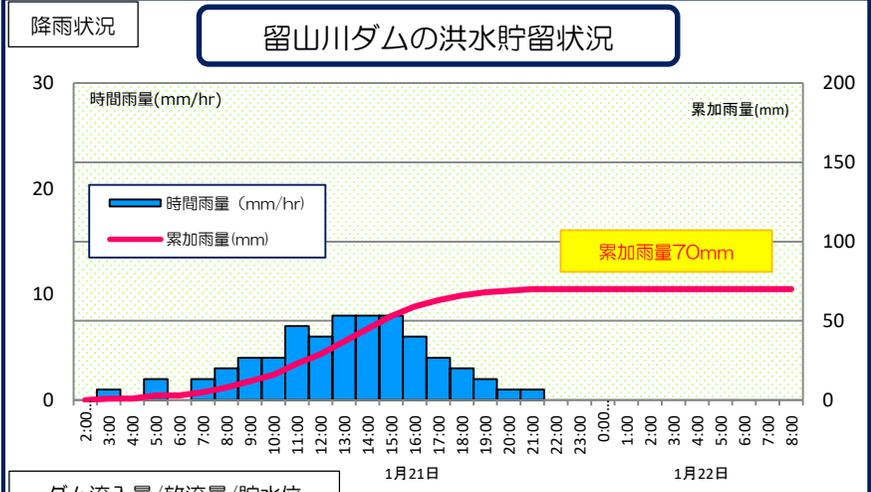


# 最上川水系押切川 留山川ダムの効果(令和6年1月21日 南岸低気圧の影響)



- 最上川水系押切川の留山川ダム地点において、1月21日2時頃から降り続いた雨は、21日22時までには累加雨量が70mmに達し、留山川ダムでは最大毎秒11.45m<sup>3</sup>(1月21日16:20)の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、留山川ダムでは約7.4万m<sup>3</sup>(※25mプール約206杯分)の水を貯め込み、下流河川の水位の低減を図りました。 ※25mプール:長さ25m×幅12m×深さ1.2m=360m<sup>3</sup>で換算した場合
- 留山川ダムによって、ダム下流の天童市山口地点で約43cmの水位を低減させる効果があったものと推測されます。



問い合わせ先

山形県県土整備部河川課ダム担当 TEL 023-630-2619

村山総合支庁建設部山形統合ダム管理課 TEL 023-631-3526